

注目ニュース

Topic 01

東日本大震災による被災地・被災者への支援

カシオグループは、2011年3月11日に発生した東日本大震災による被災者の救済と被災地の復興に貢献するため、救援活動資金として総額5,000万円を寄付するとともに、従業員からの募金額に応じて支援金を拠出するマッチングギ

フトを実施しました。この結果、従業員から集まった約1,057万円とカシオグループからその倍額相当となる2,200万円を各団体に寄付しました。また、継続的な支援として、震災孤児育英支援金を、一時金500万円に加え年間200万

円の支援金を10年間、計2,500万円の寄付を行うこととしました。

このほか、置時計・掛時計をはじめ、GPS付デジタルカメラ、電卓等の当社製品を仮設住宅、災害対策本部、教育機関等に寄贈しました。

〈義援金・支援金 寄付先〉

カシオグループより：特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム、あしなが育英会

カシオグループ従業員より：日本赤十字社、JAM（Japanese Association of Metal, Machinery, and Manufacturing workers）

Topic 02

リレー計算機「14-B」が情報処理技術遺産に登録

2011年2月、情報処理学会の認定により、当社が1959年に商品化したリレー計算機「14-B」が「情報処理技術遺産」に登録されました。同制度は、人々の生活、経済、文化などに影響を与えた、

次世代に継承すべきコンピュータ技術や製品の保存と活用を図るために設けられたものです。今年度は「14-B」を含む9件が登録されました。



14-B

「国連グローバル・コンパクト」に参加

カシオ計算機は、2010年12月27日、国連が提唱する「グローバル・コンパクト」へ参加しました。

「グローバル・コンパクト」は、人権、労働、環境、腐敗防止に関

するテーマで10原則を設定し、これを企業・団体が自ら実践することで、経済のグローバル化に伴い発生する環境破壊等の問題を解決し、国際社会の持続的成長に寄与することを目的としています。

当社は、「創造 貢献」の経営理念のもと、今回、世界共通の原則である「グローバル・コンパクト」に参加し、グローバル企業として、CSR経営を進める当社の姿勢をさらに明確にしていきます。

【国連グローバル・コンパクトの10原則】

〈人権〉 企業は、

原則1. 国際的に宣言されている人権の保護を支持、尊重し、

原則2. 自らが人権侵害に加担しないよう確保すべきである。

〈労働基準〉 企業は、

原則3. 組合結成の自由と団体交渉の権利の実効的な承認を支持し、

原則4. あらゆる形態の強制労働の撤廃を支持し、

原則5. 児童労働の実効的な廃止を支持し、

原則6. 雇用と職業における差別の撤廃を支持すべきである。

〈環境〉 企業は、

原則7. 環境上の課題に関する予防原則的アプローチを支持し、

原則8. 環境に関するより大きな責任を率先して引き受け、

原則9. 環境に優しい技術の開発と普及を奨励すべきである。

〈腐敗防止〉 企業は、

原則10. 強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗の防止に取り組むべきである。

